

Summary, 17 November, 2022

日時：2022（令和4）年11月17日

会場：東京外国語大学 語学研究所

「トラパネク語の声調交替と音韻形態論の交差領域」

発表者：内原洋人（東京外国語大学大学院総合国際学研究院准教授）

メキシコ・ゲレロ州で話されるトラパネク語（メパー）はオトマンゲ諸語に属する声調言語である。トラパネク語は複雑な動詞形対論を有し、(Suárez 1983; Tiburcio Cano 2017; Wichmann 2019)、一部の動作主動詞においては六つの動作主人称が声調のみによって区別される(Uchihara & Tiburcio Cano 2020)。本発表ではこうした声調活用は接頭辞と語幹の基底の声調および声調規則や声調制約によって説明可能であることを示す。更に、このような音韻論的な（形態素に基づいた）分析と、語に基づいた形態論的な分析を対比し、前者が以下の三つの点で後者の分析よりも優れていることを示す：(i) 自由変異を示す活用形の説明と予測、(ii) 語形融合のパターンの説明、(iii) 可能な声調活用のパターンとその数の予測。